

きっと忘れない

「あの時は大変だった」と、いつか振り返る日が来るでしょう。

学校に行けなくなった日のこと。

最後の大会や発表会が中止になった日のこと。

この先どうしようかと考え続けた日のこと。

そんな時、思い出してほしい。支え合った友人のこと。

誰もいない教室で、また会える日を待ち続けていた先生たちのこと。

この未曾有の出来事に、今、何ができるだろうかと、奔走した大人たちがいたことも。

コロナ禍にも精一杯輝き、この日を迎えた令和3年春の卒業生を、私もずっと忘れることはないでしょう。全力で疾走する姿も、燃えるような声援も、歯を食いしばり稽古をした背中も、訥々と夢を語る横顔も。

たくさんの高校生にお会いして感じた底力は、今もなお、心に刻まれています。

「人の志操(不変の志)は失意の時に真にして、

人の情好(友情や愛情)は失意の時に密なるものなり」

(佐賀の偉人・大隈重信のことば)

人生にはいいことも、そうでないこともある。けれど、自分の思いの中でこれからも全力を尽くしてほしい。

誇らしい佐賀の地で育んだ志と、信じた仲間を大切に、

前へ前へ、自分が選んだ道をまっすぐ進んでいこう。

卒業おめでとう。

令和3年春

佐賀県知事 山口 祥義

よしのり